

工学部だより

特待生及び奨学生賞状授与式

平成26年度日本大学特待生及び各種奨学生賞状授与式を7月17日(木)に執り行いました。詳細は右のとおりです。

日本大学特待生(甲種).....	4名
(乙種).....	20名
日本大学古田奨学生.....	1名
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学生.....	1名
日本大学オリジナル設計奨学生.....	2名
日本大学エドワーズ奨学生.....	8名
日本大学俊徳奨学生.....	4名
日本大学工学部奨学生(第1種).....	6名
日本大学工学部奨学生(第2種).....	3名
日本大学工学部奨学生(第3種).....	2名
日本大学工学部奨学生(第4種).....	18名
日本大学工学部五十嵐奨学生.....	12名
計	81名

屋内相撲場が完成

この度工学部では、敷地内に屋内相撲場を建設しました。東京電力福島第一原発事故による放射線の影響を気にせずに子どもたちに相撲を楽しんでもらおうと、郡山市と福島県相撲連盟の要望を受け、実現したものです。4月20日(日)に、日本大学の田中英壽理事長、大塚吉兵衛学長、出村克宣工学部長、門馬秀夫県相撲連盟名誉会長ら関係者約30名が出席し落成記念式典が行われました。出村学部長は「国技である相撲が盛んになるきっかけになればうれしい」と語っていました。落成記念の相撲大会には、県内各地から小中学生約100名が出席し、真新しい土俵の上で白熱した相撲を取っていました。

ラグビー日本代表の大野均選手が歴代最多出場記録達成

工学部卒業生でラグビー日本代表の大野均選手(東芝ブレイブルーパス所属、平成12年度機械工学科卒)が、5月30日(金)に東京秩父宮ラグビー場で行われたリポビタンDチャレンジカップ・サモア代表戦に出場し、日本代表としての通算出場試合数(82)の歴代最多記録を達成しました。

大野選手は、平成13年に工学部から東芝府中(現東芝)に入社し、平成21年から平成22年シーズンでは、トップリーグの最優秀選手(MVP)にも選ばれています。また、昨季までリーグベストフットゥーンを9回受賞、平成16年に初めて日本代表に選ばれ、これまでに主将も務めました。平成19年、平成23年にはW杯に出場しています。また、6月26日(木)には工学部を表敬訪問されました。

「ウーズレー4/44」を日本自動車博物館へ寄贈

この度、自動車部が56年間に渡り歴代乗り継いできた英国車「ウーズレー4/44」を石川県小松市にある日本自動車博物館に寄贈いたしました。昭和33年に当時の自動車部の部員らが購入し、ラリーレース等で使用され、学生たちに夢と希望を与え、豊かな感性を育ててきましたが、現在は部品供給が難しい状況になっていました。

6月12日(木)本館前に行われた自動車部OB会による歓迎会には、卒業生や現役部員、関係者約50名が参加し、「ウーズレー4/44」の最後の走りを見届けました。今後は、数々の名車が並ぶ日本自動車博物館の1台として展示されます。

工学研究所NEWS

平成26年度「イブニングセミナー」開講

「福島県の復興を支える工学技術〜ロハスの工学を用いた日本大学工学部の取り組み」と題した課外講座／イブニングセミナーを、5月8日(木)から7月24日(木)にかけて計11回開催しました。各学科の教員が、健康で持続可能な生活スタイルを支える「ロハスの工学」を用いた取り組みや開発中の技術を解説。工学部の学生のみならず、参加された企業や一般の方々にも今後の復興に役立つ有意義なセミナーとなりました。

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

2014 No.241 平成26年7月24日

編集:日本大学工学部広報専門委員会

発行:日本大学工学部 TEL(024)956-8618

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1

http://www.ce.nihon-u.ac.jp E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp

ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せください。


 福島県立大学
福島県立大学
福島県立大学

 VEGETABLE
OIL INK
この印刷は
再生紙を使用しております。

中村玄正名誉教授らの活動が日本水大賞環境大臣賞を受賞

この度、日本大学名誉教授の中村玄正氏(元工学部教授)が会長を務める「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」が、第16回日本水大賞環境大臣賞を受賞しました。

同会は工学部や福島県、民間団体などが参加し発足されたもので、猪苗代湖の水質保全のための水生植物等回収活動を展開してきました。6月17日(火)に東京で行われた表彰式に出席した中村氏は「受賞を励みに猪苗代湖の水質日本一の復活を目指すとともに、若い世代に活動を伝えていきたい」と語っていました。

東北地区大学総合体育大会壮行会

6月19日(木)、平成26年度東北地区大学総合体育大会壮行会が行われました。今大会に出場する体育会所属11団体を代表し、硬式テニス部の矢部峻輝さん(生命応用化学科3年)が、声高らかに健闘を誓いました。その宣言通り、各団体とも力を発揮し堂々の成績を収めてくれました。

献血キャンペーンを実施しました

工学部では、毎年学内で献血キャンペーンを行っています。今年も5月・6月に計3回実施しました。毎年必ず献血しているという4年生や初めて経験したという1年生など、のべ81名の学生が協力してくれました。2027年には101万人分の血液が不足すると言われています。工学部でも若者の積極的な献血へのボランティアを呼び掛けています。

大学院特別講義を行いました

日本大学大学院工学研究科では、教育課程を超えた幅広い教育研究に資するため、毎年「大学院特別講義」を行っています。今年度は7月9日(水)にトヨタ自動車株式会社社会実装部車両安全開発主幹の木内透氏による「自動車の安全技術 一死傷者ゼロに向けたトヨタの取り組み」、7月10日(木)に追手門学院大学地域文化創造機構 特別教授の水野彌一氏による「アメリカンフットボールと機械工学」を開講。本研究科学生のみならず、一般の方にもご聴講いただきました。最先端技術やこれまでのあらゆる人生経験等の話もあり、大変貴重な講義になったようです。

環境美化に伴う学内清掃の実施

環境美化に対する学生の意識向上を目的に、学術文化サークル連合会、体育会主催による環境美化に伴う学内清掃を7月14日(月)から18日(金)に行いました。情報工学科棟や50周年記念館、54号館周辺を中心に、各班に分かれてキャンパス構内のゴミや煙草の吸殻等を収集しました。学術文化サークル連合会会長の神山達さん(情報工学科3年)は「私たちの活動を通して、学生自らがキャンパスの美化を心がけ、ゴミを捨てないようにしてほしい」と呼びかけていました。



平成26年度新入生集合写真(2014.4.24撮影)

Contents

■新入生特集■

一步一步進んでいこう!
未来の自分へとつづく道

■新入生の声 P1-2

■新入生行事紹介 P3-4

■在学生レポート P5-10

私たちのキャンパスライフ!

■異文化体験記 P11-12

Overseas Report 留学体験から異文化を学ぶ

■工学部就職情報 P13-14

工学部の就職支援を活用しよう!

■研究特集 P15-16

学術研究、地域貢献など、さまざまな分野で活躍する教員の研究活動を紹介

■平成26年度科学研究費助成事業交付者 P17

独自の・先駆的な数々の研究が助成事業に採択されました

■平成26年度父母懇談会 P18

ご父母との連携を深め、教育の充実を図るために

■工学部だより P19

新入生の声

Freshman's voice



土木工学科1年
廣木 太一さん
(東京都出身)

水に関する幅広い知識を身につけたい

父親の経営する会社で行っている、断水せずに水道管を加工するという仕事に関心をもち始めたことが土木を目指すきっかけでした。工学部の土木工学科なら水に関する幅広い研究があり、将来役に立つと思いました。下宿では他学科の友だちもでき、まるで毎日が修学旅行のようです。開放感のある伸び伸びとした環境で、よく学び、よく遊んで、充実した大学生活を送りたいと思っています。



目標
夢は父の会社をメジャーにして、断水水道を世界に広めること！測量学にも興味があり、将来仕事で使えるように技術を修得したいです。



建築学科1年
成澤 麻衣さん
(宮城県出身)

資格取得に励み、自分を磨いていきたい

施設や設備などの学習環境だけでなく、就職サポートも充実しているところに魅力を感じ、工学部を選びました。入学前の印象とは違い、個性的で親切な先生ばかりで、講義も毎回楽しみです。全科目A以上の評価を取れるように勉強を頑張ることはもちろん、人脈づくりや視野を広げるなど、自分を磨きたいと思っています。この4年間で、将来の人生プランについてもしっかり考えたいです。



目標
自分が設計した家を立てることが私の夢。資格にはどんどん挑戦していきたいと思い、今は学内で開講されている宅建講座を受講しています。



機械工学科1年
倉澤 薫さん
(群馬県出身)

勉強とサークル活動を両立させること

高校の先生から紹介され、工学部のオープンキャンパスに参加した時、雰囲気がよく、楽しそうな大学という印象を受けました。入学して北桜祭実行委員会に入ったら、先輩方がやさしく接してくれて、思ったとおりよい大学生活を送れると思いました。ものづくりに興味があり、工作機械いじりに面白さを感じています。将来は工業高校の教員になり、自分の技術を伝えていきたいです。



目標
勉強とサークル活動の両立が目標です。北桜祭実行委員会では、よさこいや宝探しの企画を担当。みんなで楽しめる北桜祭にしたいと思っています。

一步一步進んでいこう！ 未来の自分へとつづく道

ようやく大学生活にも慣れてきた新入生たち。どんな夢や目標を持っているのか、どんな大学生活にしたいのか、新入生にその思いを語ってもらいました。



電気電子工学科1年
高久田 悠さん 堀米 綾香さん
(福島県出身) (茨城県出身)

臨床工学技士の資格取得を目指して

工学部に入学したのは、臨床工学技士の資格に魅力を感じたからです。環境や設備が整っていることも決め手になりました。専門分野の授業についていけるか不安もありましたが、1年次は基礎からじっくり学べるので、普通科出身者でも大丈夫。新入生学外研修で友人もでき、今は大学生活を存分に楽しんでいます。将来は、震災復興や地域の人々のために役立つ人になることが目標です。(臨床工学技士課程は許可制により2年次から)



目標
臨床工学技士の資格を取れるように頑張ります。その他、電気に関する資格をたくさん取得し、将来の仕事に活かしたいと思っています。



生命応用化学科1年
スッパブルック ルンファーさん
(タイ王国出身)

仲間をたくさんつって大学生活を充実させたい

私は高校の時から化学に興味があり、将来は人に役立つ化学製品の研究に取り組みたいと考えています。工学部はキャンパスがきれいで、勉強に集中できる環境が気に入りました。友だちができるか心配でしたが、みんなやさしくすぐに仲良くなりました。異文化コミュニケーション研究会には、さまざまな国の留学生もいます。たくさん仲間をつって、楽しい大学生活にしていきたいです。



目標
新しいことに挑戦したり面白い研究を見つけることが目標です。そして誰も見たことのないものを創造したいと思っています。



情報工学科1年
ラハマン ラビブライズさん
(栃木県出身)

多くの経験を糧にして夢に進む

もともとコンピュータが好きで、情報工学を学べたらこの上なく楽しいだろうと思い入学しました。日本大学というブランドと生活費の安い郡山というのも選んだポイントです。入学して驚いたことは図書館などの充実した施設と、「早い、安い、美味しい」の3拍子揃った学食。ここで学べるものは何でも学び、たくさんの人の話を吸収し、多くの経験を糧にして夢に突き進んでいきたいです。



目標
私がなりたいのは脳科学者。現代コンピュータネットワークを基に生物の脳を分析して、たくさんの人の意思疎通に役立てたいと考えています。

新入生行事紹介

大学生活のスタート

開講式

“ロハスの工学部”へようこそ。開講式の会場に集まった約1,200名の新入生たちは、緊張感とともに少しずつ大学生になったことを実感しながら、大学生活をスタートさせました。



友だちの輪が広がる

新入生学外研修

各学科に分かれて行われた1泊2日の新入生学外研修。観光地を巡りその歴史に触れるとともに、宿泊先ではオリエンテーションや懇親会が開かれ、友だちや教員との親睦を深めました。



HOT VOICE!

- ガッツリ勉強して資格を取り、サークル活動も頑張って充実した大学生活にします。
- 基礎から応用までしっかり身につけて、多くの人を助ける仕事ができるようになります!

HOT VOICE!

- 親身になってくれる先生ばかりで安心しました!
- いろいろな出身地の友だちができました!

先輩と仲良くなろう

サークル勧誘

体育会・学術文化サークルなど約80団体が、新入生のために行う1週間限定のサークル勧誘。先輩たちの趣向を凝らしたさまざまなパフォーマンスに、新入生たちも魅了されていました。



HOT VOICE!

- 体育会系も文化系もどちらもやってみたいです。
- サークルに入って先輩や友だちをたくさん知りた!

新入生歓迎イベント満載! 大学生活を全力で楽しもう

工学部では、新入生が早く大学生活に溶け込めるように、さまざまなイベントを開催しています。



人間力を身につける

フレッシュマンセミナー&教養講座

1年生を対象にしたフレッシュマンセミナーは、大学での学習方法や社会人としての人間力を身につけるための講座。その学習の一環として、各界の第一線で活躍する著名人を講師として招き、人生観や世界観に触れる教養講座も行われました。



HOT VOICE!

- いろいろな方の話を聞いて、知らなかった分野にも興味を持ち視野を広げたいと思います。

参加することに意義がある!

第3回工学部体育祭

学年・学科・所属サークルの垣根を越えて、今年も熱い戦いが繰り広げられた体育祭。大縄跳びや紙ヒコーキで圧倒的な成績を取めた硬式野球部、〇×クイズで知性を発揮したソフトテニス部や秋田県人会&個人チームなど、1年生も奮闘を見せる中、昨年2位の陸上競技部が今年は1年生の大活躍により見事優勝を果たしました。



HOT VOICE!

- 結果よりみんなで楽しめたことがよかった!
- 来年も優勝目指して頑張ります。

サークル活動は大学生活の潤滑油

新入生歓迎イベント

サークルごとに主催する新入生歓迎イベントも目白押し。フォークソング同好会で行われた新入生歓迎ライブでは、総勢約30名による熱い演奏が10時間にも及ぶという、まさに体を張った歓迎ぶりをを見せていました。新入生が参加するバンドもあり、初めてステージに上がり最初は緊張していた1年生も、最後には「気持ちよかった!」と満面の笑みでライブを楽しんでいました。



HOT VOICE!

- 下宿の先輩に誘われて入りました。みんなフレンドリーで壁がなくて楽しいです。
- やってみたいバンド。今日がデビューでしたが、うまく演奏できてよかったです。

LIVE A FULL CAMPUS LIFE

在学学生レポート

私たちのキャンパスライフ!

LIVE A FULL CAMPUS LIFE

水環境の保全を目指す研究に向けて
現地調査の準備を進めています

高校から専攻してきた土木をより専門的に学びたいと思い、大学に進学。4年生になり、いよいよ本格的な研究が始まりました。私が衛生工学研究室で取り組むのは、理想的な水環境の創造です。富栄養化の要因である土粒子に含まれるリンやpHの値を調べる溶出実験を行い、水質汚濁を引き起こす藻類増殖を制御することが目的です。



上石 健さん

土木工学科 4年

4年間の集大成である
建築構造設計の課題に奮闘中です

それぞれ違う建物を設計することで、毎日一つひとつ新しい課題にチャレンジできるという建築分野の楽しさを実感しながら、設計の課題に奮闘する日々を過ごしています。日本大学工学部は全国各地から学生が集まってきていることが魅力のうちのひとつで、4年間を通して広く深い交友関係を築くことができました。大学院への進学を考えており、現在、二級建築士の資格を取ることを目標としています。



星 小百合さん

建築学科 4年

郡山は都会で暮らしやすい

実家は田舎なので、自分にとって郡山は都会で暮らしやすい場所だと感じています。1年の頃から住んでいるアパートは、8帖の1Kで家賃3万円の格安物件。角部屋で窓が大きく日当たりの良いところが気に入っています。家具をダークブラウンに揃えたのが、ちょっとしたこだわりです。



朝・昼・晩もOK!
安い・美味しいボリューム満点の学食

一人暮らしにとって大きなウェイトを占める食生活。その点、工学部の学生食堂は昼間だけでなく、朝・晩も営業しているので助かります。安い・美味しい・ボリューム満点で、栄養バランスも考えられているから健康的です。



経済的負担の少ない自宅通学

工学部を選んだのは、自宅から通えることも理由の一つ。自宅からバスを乗り継いで1時間ほどかかりますが、一人暮らしより経済的にも精神的にもとても楽です。2年生以上で片道2km以上離れた住居なら、学生駐車場を借りられるので、車があればマイカー通学もいいと思います。



鋼構造デザイン研究室で
構造実験に取り組む

建築のさまざまな分野の中でも特に構造系に興味があり、鋼構造デザイン研究室に所属しています。グループごとに鋼板の引張強度の実験を行い、鋼材という材料の機械的性質を分析しました。卒業研究に向けて、構造についてのあらゆる知識と経験を深め、精一杯頑張ろうと思います。



将来に向けて測量学を勉強中

将来は地元新潟県の建設コンサルタントの会社で、土木の知識を活かしたいと思っています。即戦力として仕事ができるようになるため、1・2年次に学習した測量学を再度勉強しています。



一人暮らしで身につけた料理の腕前

一人暮らしをするまで料理の経験はありませんでしたが、やってみると意外に楽しくハマってしまいました。ふわふわ卵のオムライスやリンゴのコンポートにも挑戦。今では料理の腕前も三ツ星級(?)。得意なのはトマトを使ったヘルシーパスタです。



建築構造設計の授業が面白い

建築学科は製図やレポートなどの課題が多く大変ですが、自分で設計した建物が形になっていく醍醐味を味わえます。私は数学や物理が好きなので、緻密な計算によって導き出される建物の構造の世界に、やりがいを感じています。



就職支援が充実!
700社以上が集まる就職セミナー

全国からさまざまな業界の企業が集まり、直接説明を聞くことができる工学部就職セミナーは就活の強い味方です。その他、就職ガイドダンスや就職試験対策など工学部の就職支援は充実しています。



Life Topic >>>

徳定川清掃で現場調査の大切さを学ぶ

土木工学科の水環境について学ぶ研究室を中心に、毎年春と秋に行われている徳定川清掃。キャンパス内とその周辺の上流から下流、古川池などに溜まったゴミを回収して、水質向上を目指しています。今年15年目を迎える伝統的な行事で、卒業生もたくさん参加します。私も今年初めて参加。実際に川の中に入ること、水の淀みや流れの影響を実感できました。文献だけではわからない現場調査の大切さも学び、今後の研究にも役立ちそうです。



Life Topic >>>

ヨーロッパ研修旅行は貴重な体験

工学部で毎年春休みに行われているヨーロッパ研修旅行。2週間でドイツ・オーストリア・チェコ・フランス・イタリアの5か国を巡り、歴史的な建造物や美術館の作品などを観て、異文化に触れる貴重な体験ができます。私は、2年生の春休みに建築学科の友だちと一緒に参加しました。授業で習った建造物を実際にこの目で見て感じることで、とても刺激的でした。普段話することのない他学科の人とも交流の機会を得て、楽しい思い出になりました。



5

6

日々の研究によって自己研鑽する 研究漬け大学院生活です

私が所属するのは、自動車の安全に関する研究を行うバイオメカニクス研究室。人と機械が共存する持続可能なライフスタイルの確立を目指すべく、交通事故の死者を減らすための研究に取り組んでいます。もっと深く研究をしたいと思い、学部生の早い段階から大学院進学を決意。日々の研究によって自己研鑽するとともに、学会発表や研究室での輪講を通して伝える力を磨いていきたいと思っています。



向川 康介さん 機械工学専攻 1年



居城 規介さん 電気電子工学科 2年

大学での成果の一つとして 臨床工学技士の資格取得が目標です

太陽エネルギーについて学びたいと思ったことが、電気電子工学科を選択した理由の一つ。また、大学時代に何か資格を取りたいと思っていたので、臨床工学技士の資格取得に挑戦しています。臨床工学技士課程は、今年度から機械工学科と電気電子工学科に設置されたカリキュラムです。医療施設や医療機器メーカーへの就職にも有利。病院での実習もあるので、今から楽しみです。



研究室が生活の拠点

マイホームと言っても過言ではないくらい、生活の拠点となっているのがこの研究室。平日は朝8時30分から夜11時まで、土日もここに来て研究漬けの日々を送っています。

プレゼンテーション力の向上を図る

学会での発表が多くなるのも大学院ならではの特です。授業でも自分の研究をプレゼンテーションする機会があり、自分の研究をいかにわかりやすく伝えるか、他の院生の発表も参考にしながら、プレゼンテーション力の向上を図っています。



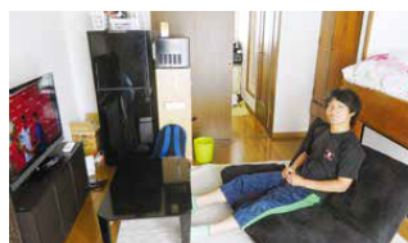
学術研究講演会で賞に輝く

2013年度自動車技術会関東支部学術研究講演会で「交通事故詳細データを用いた傷害予測アルゴリズムの検証」の研究結果を発表し、ベスト・プレゼンテーション賞をいただきました。大学院進学前に一つ実績を残せてよかったです。



575万冊を 超える日本大学の 蔵書が入手可能！

工学部図書館には数多くの蔵書が所蔵され、研究の参考資料として大いに役立ちます。工学部図書館にない資料は、日本大学蔵書目録検索システムを使えば無料で取り寄せも可能。医学に関する資料が簡単に手に入るのも日本大学のネットワークのおかげです。



友だちと楽しく過ごすキャンパスライフ

大学まで自転車で2分ほどの距離にあるアパートに住んでいます。近くに住んでいる友だちが、DVDを持ってよく遊びに来ます。大学周辺に友だちがたくさんいることで、キャンパスライフも一層楽しくなります。



専門的な授業 ばかりだけど、 わかって楽しい

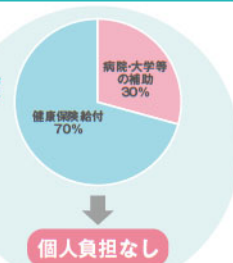
高校より専門的な授業が多く、難しいことばかり。でも理解できると楽しくなり、電気電子工学の面白さを実感します。



個人負担ゼロ！ 学生医療割引制度

指定された病院で受診すると、医療費の3割を大学と契約病院または校友会が負担してくれる学生医療割引制度。個人負担ゼロだから、病気やケガをした時に便利で安心できるサポートです。

※適用条件がありますので学生課で確認してください



月曜はトレーニングで汗をかく

高校から始めたラグビー。大学でも続けたいと思いラグビー部に入りました。グラウンドでの練習は水曜と日曜に行い、月曜はトレーニングの日にあてています。体を鍛えるのも好きなので、トレーニングでも自分の限界まで頑張っています。



Life Topic

他大学との共同研究は自分にとって大きな刺激

私が取り組んでいる研究は、交通事故の状況から負傷者の傷害を予測し自動通報することで、人の命を助ける救命システムの開発です。医療に関するデータが必要なため、医科大学と共同で研究を進めています。毎月1週間程度、医科大学に赴き検証データの調査や事例の検討会、カンファレンスを行う中で、工学的な視点とは異なる考えを持った先生方と話すことは、自分にとって大きな刺激になります。



Life Topic

現役で活躍する大先輩の大野均選手を誇りに

工学部卒業生でラグビー日本代表の大野均選手（東芝ブレイブルーパス所属、平成12年度機械工学科卒）が、5月30日に、日本代表としての歴代最多出場記録を達成。尊敬する大先輩の活躍はラグビー部員一同の誇りです。現在、我がラグビー部は東北地区大学2部リーグに在籍。昨年は3位という成績でしたが、今年は優勝して入れ替え戦に臨み、1部昇格を目指します。少しでも大野先輩に近づけるよう、頑張ります！



勉強を第一に考えた大学生活 社会人に必要なスキルも磨いています



国井 志保莉さん 情報工学科 2年

とにかく勉強を第一に考え、成績アップを目標にしています。映像や絵が好きなので、興味を惹かれるのはコンピュータグラフィックスや画像処理などデザイン系の勉強です。情報工学の専門知識はもちろん、英語力やコミュニケーション力など社会人に必要なスキルも磨いています。ロハスの工学をテーマにさまざまな研究を行っている工学部なら、きっと、これからの未来に役立つことも学べると思います。



プログラミングは難しいけど面白い

プログラミングは難しいけど、面白い授業の一つ。苦勞する分、できた時の喜びも大きくなります。発想力も重要なポイントで、友だちのアイデアやよいところも参考にしながら、互いに技術を磨いています。

私は学食派！

時々カフェテリア、スカイレストラン、コンビニで

自分でお弁当を作って持っていくこともあります。ランチはほとんど学食を利用します。その日の気分やスケジュールで、カフェテリア、スカイレストラン、学内コンビニという具合にランチスタイルも変えて楽しんでいます。



レベルに合ったクラスで 基礎から学べる

役立ったのはリメディアル教育などの学習サポート。1年次は国語・英語・数学・理科のプレースメントテストの結果に基づいてクラス分けされるので、自分のレベルに合ったクラスで授業が受けられ、基礎をしっかりと学ぶことができました。



優しくて刺激になる 仲間の存在

大学生活の中の何よりの楽しみは、友だちとお喋りしたり、ともに勉強に励むこと。私の周りにいる仲間はみんな優しく、毎日楽しく過ごしています。勉強に対して真面目に取り組む姿勢には、刺激を受けています。



Life Topic

英語力を身につけるために

英語は苦手な方でしたが、1年生の時、先生に勧められて英語の課外講座を受けてから興味を持つようになりました。「情報と職業」の授業で、企業の方の講演があり「これからの社会に英語力は絶対必要なスキル」と話されていたのが、とても印象に残っています。大学生のうちに英語力を身につけようと思い、英語講義や英語コミュニケーション、TOEICの授業を履修しています。TOEICの点数アップが目標です。





THAILAND

電車や新幹線の技術を学び、
タイの発展に貢献したい

サムワイ セークサンさん 機械工学科1年・タイ王国から日本大学工学部に留学



私は自分の能力を伸ばし、自国の発展に貢献したいと思い、日本への留学を決意しました。工学部の機械工学科は、人々の生活を豊かにする機械を作るだけでなく、地球環境にやさしいものづくりを目指していて、自分の学びたいことと一致していました。たくさんの学生が学ぶ日本大学のネットワークは、将来就職でも役立つと考えたことも選んだ理由です。

入学後に行われた1泊2日の新入生学外研修では、いわき市にあるスパリゾートハワイアンズに行き、友だちもたくさんできました。その時のオリエンテーションで先生が話された「仕事はみんなで協力するから成功する。人間関係を大切にしてほしい。」という言葉がとても印象に残っています。勉強はもちろん、大学生活で人とのつながりも大事にしていこうと思いました。異文化コミュニケーション研究会に入り、他の留学生との交流もできました。同じアパートに先輩も住んでいるから安心です。

今は英語大会に向けて、みんなで英語を上手に話せるように頑張っています。

機械工学科で一番学びたいのは新幹線や電車の技術に関することです。車社会は道路の渋滞を招くとともに、排気ガスによる健康への悪影響も及ぼします。電車は便利な交通手段であり、問題解決につながると思っています。ここで学んだ技術を活かして、将来は、電車に関する企業で働きたいと思っています。



UNITED KINGDOM

勇気を出して
飛び込むことの大切さを学ぶ

大野 滉平さん 生命応用化学科4年・イギリス ケンブリッジ大学に留学



日本と海外の大学ではどのような違いがあるのか疑問に思ったことがきっかけで、2年生の夏休みを利用して短期留学に挑戦。友人や先生、新聞で読んだ日本人ノーベル賞受賞者の「海外挑戦は重要だ」という言葉も後押しになりました。

留学先として選んだイギリスのケンブリッジ大学では、英語とサイエンスの科目を受講しましたが、刺激的で興味が湧いてくるような授業ばかり。特に屋外での授業が印象的で、日本と海外で授業形式が大きく異なることもわかりました。

一番大変だったのは、ケンブリッジ大学の先生や学生に向けた日本を紹介するプレゼンです。発表はとても緊張しましたが、無事やり遂げることができた時の達成感は最高でした。

平日は授業とケンブリッジ大学の学生が企画してくれたイベントなどを過ごし、週末はイギリス国内のさまざまな場所を訪れるなど、素晴らしい経験ができたと思います。研修中に数回行われたFormal Hallではテーブルマナーを学び、評判よりも美味しかったイギリス料理を食べたり、お酒を飲みながらたくさんの方と話をしたことも思い出の一つです。

留学を経験して学んだことは、やりたいことに勇気を出して飛び込んでみることの大切さと何事も楽しみながら実行するのが重要だということ。この気持ちを忘れずに、難題にも勇気を持って立ち向かえるような積極性を手に入れ、生命応用化学分野から医療技術の発展に貢献することが私の目標です。



異文化体験記 Overseas Report



UNITED KINGDOM

海外でも通用する
英語力を身につけたい

小林 佳正さん 情報工学科3年・イギリス アバリストウィス大学に留学



私が1か月半の海外留学を体験したのは、2年生の夏休み。海外に留学し日本を外から見ることで、新たな発見があるのではないかと考えたからです。日本以外の文化に触れてみたいと思ったのも理由の一つ。いろいろな国の学生が集まっているので異文化交流ができると聞き、イギリスのアバリストウィス大学に留学を決めました。

講義はディスカッションが多く、みんな積極的に授業に参加していたのがとても印象的でした。他者に対しても興味や関心を持って接してくれるので、互いにもっと知りたくなり親交も深まっていきました。国と国の壁を越え、一人の人間として話せたことで、視野も広がったと思います。

イギリスの夏は日が長く、夜8時を過ぎても明るかったのを覚えています。観光車に乗ってロンドンの街並みを眺めた時、伝統的なヨーロッパの佇まいを感じました。休日は海に夕焼けを見に行ったり、サッカーをしたり、旅行をしたり、とても充実した日々でした。

中学・高校で学んできた難しい英語の文法は、コミュニケーションするうえで、あまり必要ないと思いました。言葉で伝えられない時は、ジェスチャーで一生懸命伝えようとすれば、聞いてくれる人がいることも知りました。やはり、海外でも使える英語を学ぶべきだと思います。これから英語を学習するにあたり、実践を想定した英語力を身につけたいと思います。



FRANCE

自分自身の世界観や
視野を広げることができた

プラワットローイ ノツパドンさん 機械工学専攻修了・フランス リヨン工科大学に留学



高校生の頃からずっと、先進国で技術や文化を学び、母国のタイの発展に活かしたいと思っていました。アジアの先進国である日本に留学したのもそのためです。大学の4年からトライボロジーの研究に取り組む中で、共同研究を行うフランスのリヨン工科大学には優秀な先生や研究者が大勢いると聞きました。ヨーロッパの先進国でも学んでみたいという思いがあり、リヨン工科大学なら最先端の試験装置や分析装置が数多くあり、研究には最高の環境だと思い留学先を選んだのです。そこでは、金属を有する薄膜の摩擦特性について研究しました。まだ世界に数台しかない試験装置を見学したり、他の大学院生が取り組んでいる研究の話や聞くなど、さまざまな勉強ができました。

海外では日本語が通じないため、慣れない英語を使わなければなりませんが、フランスでは英語があまり通じないことに驚きました。大学内は例外ですが、学外での日常生活では英語も通じません。それを乗り越えられたことは、自分にとって大きな自信になりました。

たくさんの学生とこれまでの生き方、考え方、将来の夢などを語り合い、非常に刺激を受けました。留学先でできた友人とは今も連絡を取り合い、友人が海外の研究所に行ったり、進学したりという話を聞きながら、日々刺激を得ています。

留学を通して、自分自身の世界観や視野を広げることができ、とても有意義な経験だったと思います。これを活かして常に好奇心を持って物事に取り組んでいき、多くの人や社会のために貢献したいと考えています。



工学部の就職支援を 活用しよう!

工学部の平成25年度就職率は、学部で96.7%、大学院で96.6%と、高い水準を誇っています。日本大学全14学部の中でも薬学部に次いで2番目に高い実績となりました。

平成25年度の各学科別の就職状況および公務員・教員採用状況を示すとともに、企業からの声など、今後の就職活動について紹介します。

全国平均を
上回る
高い就職実績

● 平成25年度就職率96.7%(学部・大学院含む)

平成25年度工学部対象の求人数は、昨年より1割増加し、約11,000社でした。就職率も昨年を上回る96.7%でした。特に理工系の求人が増えていたことが好結果につながったものと思われます。全卒業生における進路決定率を見ても、88.6%(9月卒含まず)と、全国平均をはるかに上回る実績をあげています。これは日本大学の中でも薬学部に次ぐもので、3つの理工系学部でもトップの数字です。公務員・教員採用に関しても、順調に採用実績をあげています。

平成25年度 学部・大学院 就職状況	区分	学科・専攻	土木	建築	機械	電気	生命・物質	情報	合計
	学部	就職者数	98(2)	171(20)	141	164	110(17)	136(15)	820(54)
		就職率	100%	99.4%	94.0%	95.9%	95.7%	95.8%	96.7%
大学院	就職者数	就職者数	3	17	16	10	22(2)	18(1)	86(3)
		就職率	100%	100%	100%	100%	91.7%	94.7%	96.6%

※物質化学工学科は現在の生命応用化学科 () 内女子数

平成25年度 公務員・教員 採用状況 (学部・大学院含む)		土木	建築	機械	電気	生命・物質	情報	合計
公務員	公務員	16	16	11	5	8	6	62
	教員	1	2	3	2	1	3	12

● 平成27年3月卒業・修了見込者への就職支援

6月に第2回工学部就職セミナーを開催しました。県内だけでなく、東北・関東・近畿・中国まで、全国から264社の企業が参加しました。今後も就職セミナーを行いますので、内定が出ていない学生は、ぜひ参加してください。また、一人で焦らず、就職指導課や各学科の就職指導委員に相談することが大切です。

参加した
学生の声



生命応用化学科4年

2月にも参加しましたが、インターネットだけではわからない、企業の詳しい情報を知ることができるので、とてもためになります。直接、自分の知りたいことを聞けるということも大きなメリットです。就活を進めるうえで、専門分野に限らず幅広く企業を見ることが大切だと思いました。例えば、建設業は化学系ではないからノーマークでしたが、材料を扱うので化学の知識を活かすこともできます。これから就活を迎える後輩の皆さんには、多種多様な企業の話が聞ける工学部就職セミナーをぜひ活用してほしいと思います。



**就職行事
スケジュール**
10/8※ 日本大学本部 (東京)
12/10※ 日本大学合同企業セミナー

10/18※ 工学部キャンパス
第3回工学部就職セミナー

就職指導課に相談しよう

就活がなぜうまくいかないのか、その原因がわからなければ、いつまでも同じことを繰り返してしまいでしょ。就職指導課には専門スタッフがあり、学生一人ひとりの相談に応じていますので、一人で悩まず必ず相談してみてください。エントリーシートの添削、人事や社長宛ての手紙の出し方、模擬面接など、確かなアドバイスや指導も受けられます。就職指導課の他、就職指導委員や研究室の先生方に相談することで、道は拓けてくるはずです。



就職ガイダンス・就職試験対策等スケジュール

月 日	行事内容	月 日	行事内容
9/20(土)	第4回就職ガイダンス「自分に合う企業発見! ~理系学生のための業界・企業・職種研究講座」	12/6(土)	第8回就職ガイダンス「面接・グループディスカッション対策講座」
//	就職準備講座	//	クレバリン検査
9/27(土)	第3回インターンシップガイダンス「体験者報告と振り返りワーク」	12/25(木)	第1回実践模擬面接「集団面接・グループディスカッション」
10/11(土)	第5回就職ガイダンス「人気企業特別講演 ~企業人事が語る「求める人材とは」」	1/24(土)	第9回就職ガイダンス「ライバルと差をつける! 就職セミナー活用講座」
10月~12月	キャリア研究講座(第3回・第4回)	2/5(木)	第10回就職ガイダンス「準備に不安のある方は必参加! 就活スタート直前講座」
11/1(土)	第6回就職ガイダンス「自己PRはこう考える ~エントリーシート徹底対策!」	2/6(金)	第2回実践模擬面接「個人面接」
//	日本語能力試験	3/17(火)	日本大学合同企業研究会・就職セミナー
11/15(土)	第3回SPI模擬試験	3/18(水)	第1回工学部就職セミナー
11/22(土)	第7回就職ガイダンス「志望動機のポイント~エントリーシート徹底対策II」	~20(金)	
//	第2回エントリー試験		
11月~12月	業界別就職セミナー・就職活動体験発表会(各学科ごと)		

公務員試験対策講座等スケジュール

月 日	行事内容	月 日	行事内容
9/9(火)~12(金)	夏期特別集中講座 1~3年次生対象	12/20(土)	第3回公務員ガイダンス「公務員合格者体験発表会」
9/17(水)	第2回公務員ガイダンス 全学年対象		全学年対象
9/20(土)~12/20(土)	基礎コース 主に1・2年次生対象	2/12(木)~25(水)	実践コース③ 主に3年次生対象
9/21(日)~12/20(土)	実践コース② 主に3年次生対象	3/10(火)~13(金)	春期特別集中講座 3年次生対象
11月下旬	第2回日本大学一斉公務員模擬試験 全学年対象	3月下旬	全国版公務員模擬試験 3年次生対象

1回のセミナーで700社以上が集まる工学部就職セミナーを有効活用

工学部独自の就職セミナーは年3回6日間隔にわたり開催され、多数の企業が参加しています(平成26年2月開催のセミナーでは、738社が参加)。学部独自では全国でも最大規模を誇るセミナーで、工学部の学生に対する企業の期待の大きさがわかります。内定につながる割合も高く、学内にいながら、多くの企業の人事担当者と面談できることは大きなチャンスです。

企業からのメッセージ

Voice 1



鉄建建設株式会社

布施 尚行 氏(左)
内田 浩之 氏(右)

求める人材の絶対条件は、ものづくりが好きということ。仕事の楽しさが理解できるからです。社会人になっても新しい知識や技術の修得が必要ですから、自ら学ぼうとする姿勢が大事になります。工学部の学生さんは素直な人が多く、頭張れば伸びる可能性を秘めていると思います。当社には工学部の卒業生が数多く活躍していますので、そうしたネットワークを使って会社の詳しい情報を得て、企業研究に役立ててください。

Voice 2



アルバックテクノ株式会社

小島 幸久 氏

お客様とコミュニケーションを図れるかどうか採用のポイント。勉強だけでなく、人とのつながりも大切にしてください。また、一つのことを継続してやり遂げるねばり強さや何事にもチャレンジする姿勢は、仕事をするうえでも必要な資質。就職活動では、会社の名前で判断するのではなく、自分が働いている姿を思い描ける会社を選んでほしいと思います。

CSNavi(Career & Skill up Navigation System)の求人情報や就職行事など工学部の就職支援はどこよりも充実しています。この支援を有効に活用しながら、希望の就職に向けて頑張ってください。

『「地形舞台」-中山間地過疎地域に寄り添う集落づくり拠点-』が 東北建築賞作品賞に輝く



建築学科の浦部智義准教授と浦部研究室が計画・設計に携わったプロジェクト『「地形舞台」-中山間地過疎地域に寄り添う集落づくり拠点-』が、一般社団法人日本建築学会東北支部の第34回東北建築賞作品賞に選ばれました。この賞は、東北地方においてその建築文化や環境形成の向上に貢献し、地球環境時代に相応しい優れた建築作品、東北地方で発表された将来性が期待される研究活動、その他建築分野にかかわる重要な業績を顕彰するものです。福島県の中山間地天栄村湯本地区にある築100年を超えて空き家となっていた茅葺の古民家を改修・用途変更して、日常的にも気軽に集落の人が集まる場所・舞台に再生した『地形舞台』。「山間の過疎地において古民家を後世に伝え、場所の記憶を継承しながらも、新たな活用の可能性を示す好例」として、高く評価されました。



近代日本建築史に新たな領域を拓いた著書が 日本建築学会著作賞を受賞



建築学科の速水清孝准教授の著作『建築家と建築士―法と住宅をめぐる百年』（東京大学出版会、2011年）が、2014年日本建築学会著作賞を受賞しました。この賞は、一般社団法人日本建築学会の会員が執筆した建築に関わる著書であって、学術・技術・芸術などの進歩発展あるいは建築文化の社会への普及啓発に寄与した優れた業績に對し贈られるものです。本書は、日本における建築士法制定までのプロセスを辿りながら、建築士法がどのような理念でつくられたのかを明らかにするとともに、その後の建築士法をめぐる評価や批判に関わる動きや言説について詳細に論じたものです。「建築家の『職能運動』から『建築史』へ」というパラダイム変換を成し得たこと、「建築界がいかに社会に貢献しようとしたかを再考するための建設的な素材」としても高く評価されました。



地震動推定手法の精度評価に関する論文が 平成25年度の土木学会論文賞を受賞



土木工学科の中村晋教授の論文「本震観測記録を利用した地震動推定手法の精度とその向上策-2008年岩手・宮城内陸地震における震源域を対象として-」が、公益社団法人土木学会の平成25年度土木学会の論文賞を受賞しました。本論文は、2008年岩手・宮城内陸地震(内陸地殻内地震)における震源域での強震観測点を対象に、地震動推定手法の違いが推定精度に及ぼす影響について検討を行ったものです。強震記録が得られている地点で地震動を複数の方法を用いて推定し、用いた手法の優位性について定量的な評価を行い、常時微動計測や中小地震観測を実施することで地震動の推定精度が大幅に向上することを示しました。海溝型地震やスラブ内地震の事後推定にも積極的に適用しており、論文賞に相応しいと高く評価されました。



健全で持続可能な橋をつくるための 『ロハスの橋プロジェクト』がスタート



この度、土木工学科のコンクリート工学研究室(岩城一郎教授、子田康弘准教授)では、民間企業との産学連携による、健全で持続可能な橋、すなわち「ロハスの橋」を実現するための研究プロジェクトをスタートいたしました。プロジェクトでは、2本の鋼製の主桁上にタイプの異なる6種類のRC(鉄筋コンクリート構造)床版を持つ橋の実物大モデルを作製し、工学部キャンパス内に設置。自然環境に暴露された橋が、どのような劣性を示すかを1年間かけて計測します。1年後には塩害、凍害等の各種耐久性試験や荷重重走行試験機を用いた耐疲労性の評価を行います。東日本大震災で津波被害を受けた地域では、復興に向けたインフラ整備が進められていますが、本研究で得られた成果は新しく造られる橋の設計・施工や、老朽化した橋を架け替える際に大いに役に立つものと考えられます。



平成26年度科学研究費助成事業交付者

科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたる「基礎研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、独立行政法人日本学術振興会のピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。今年度、工学部では以下の研究が採択されました。

研究種目	学 科	資 格	代表者氏名	分担者 (学内)	連携研究者 (学外)	研 究 課 題 名	今年度交付額(円)		研究期間 (年度)
							直接経費	間接経費	
基礎研究(B)	土木	教授	岩城 一郎	子田 康弘	—	海岸部の影響を受けて変化した道路橋RC床版の診断・治療技術の開発	4,300,000	1,290,000	H24-H26
	機械	教授	西本 哲也	—	—	ヒト運動時の振動メカニズムの解明による災害発生時の安全ガイドラインの作成	6,100,000	1,830,000	H26-H28
	電気電子	研究助教授	尾股 定夫	—	山口 梢	位置シフト法による走査型NanoHaptic(ナノ触覚)制御の開発	6,800,000	2,040,000	H26-H28
	生命応用	准教授	児玉 大輔	—	—	イオン液体を利用した環境調湿型(EO)熱収縮型再生プロセスの開発	6,300,000	1,890,000	H26-H28
	土木	教授	堀井 雅史	—	—	冬季道路の路面凍結防止システムの構築	1,200,000	360,000	H26-H28
基礎研究(Q)	土木	准教授	子田 康弘	—	—	水分蒸発と材料劣化という環境要因を考慮したRC部材の疲労耐久性能	2,300,000	690,000	H26-H28
	土木	准教授	仙根 紀明	—	—	凍結化後の凍結の再配分を考慮した地盤凍結解析手法の開発	600,000	180,000	H25-H27
	建築	准教授	浦部 智美	—	—	東北地方に現存する野付集村建築・芝居小屋の活用実態と地域における効果に関する研究	540,000	162,000	H26-H28
	建築	准教授	遠水 清孝	—	—	アントニ・ガウディの設計手法に関する研究—数値シミュレーションとディテールを中心に	1,500,000	450,000	H25-H27
	建築	専任講師	市岡 綾子	—	—	歴史的なまち景観を再現した復興まちづくり	400,000	120,000	H25-H27
	建築	研究員	若井 正一	—	—	居住形態の変容からみた身体空間のメカニズムの動的計画と可視化に関する研究	800,000	240,000	H25-H27
	機械	教授	袴崎 隆夫	遠藤 央	—	災害時における人間の動作を解析可能な集団避難行動シミュレーションの開発	600,000	180,000	H24-H26
	機械	教授	藤原 明彦	—	—	マニピュレータの軌道追従制御のための日昇検定法の実現	2,000,000	600,000	H26-H28
	機械	教授	彭 國義	清水 誠二	—	気流加速域水中アプレシア・スパンション・ジェット生成法の確立	1,500,000	450,000	H26-H28
	機械	准教授	伊藤 耕祐	—	—	合金含有複合炭素繊維(MMC)を用いた高機能複合材料の創成	2,200,000	660,000	H26-H28
	機械	准教授	長尾 光雄	—	—	変形性金属材料の早期破断を抑制した新設計システムを用いた設計最適化の開発	500,000	150,000	H25-H27
	電気電子	教授	天野 隆鴻	乾 成里	—	深層1基に相当するラジアンズ型海上風力発電機の潮流・バスターバル制御の開発	800,000	240,000	H24-H26
	電気電子	教授	藤原 秀三	道山 哲幸	—	線形・非線形・非定常マイクロ波アンテナの開発	500,000	150,000	H24-H26
	電気電子	教授	黒田 聡	—	—	動画像処理・3次元解析手法を基にした映像型コミュニケーションシステムの開発	1,800,000	540,000	H26-H28
	電気電子	教授	渡邊 博之	—	—	自由記述式コースウェアに対応したLMSの開発と学習データの分析	600,000	180,000	H24-H26
	電気電子	准教授	四方 渡一	—	—	フーリエ変換型テラヘルツ波計測システムの研究	1,600,000	480,000	H26-H28
	電気電子	研究員	野宮 正範	山口 梢	—	動画像処理に伴う慢性肺疾患による低酸素状態モデルの開発と病態の解明	1,600,000	480,000	H26-H28
	生命応用	教授	沼田 靖	—	—	高次元バイオマス変換プロセスにおけるダスト・レーザー・ラザン定域化技術の開発	500,000	150,000	H24-H26
	生命応用	准教授	石原 靖	—	—	ボリカルボンナノ管電極を用いた多機能型燃料電池ポリアノードの開発	1,300,000	390,000	H26-H28
	生命応用	准教授	齋藤 義雄	—	—	新規高効率性光触媒による高効率なDNA-塩基配列法の開発	1,300,000	390,000	H25-H27
	情報	教授	若林 裕之	—	—	レーザを用いた北極圏・南極圏の環境監視に関する研究	1,600,000	480,000	H26-H28
	情報	准教授	小林 義和	—	白井 健二	テクニカル・デザインによる製品設計技術の開発	1,400,000	420,000	H24-H26
	情報	准教授	関澤 俊彦	—	—	動的システムに対する適応制御プログラムの信頼性検証に関する研究	1,100,000	330,000	H26-H28
	情報	准教授	中村 和樹	—	—	薄層・年次の変遷における電磁気特性の研究	2,600,000	780,000	H26-H28
	情報	専任講師	宮村 倫司	—	—	建築構造解析の高速化のためのファイバースコープグリッドMGの開発	800,000	240,000	H24-H27
	総合教育	教授	藤原 雅美	—	—	延性二相合金における動的な強化機構と高強度形成機構の解明	1,000,000	300,000	H25-H27
	電気電子	教授	酒谷 薫	—	—	鉄素によるストレス緩和作用の神経基盤の解明	900,000	270,000	H25-H27
挑戦的萌芽研究	電気電子	PD	中山 誠雄	—	—	ヒトが手で触れて知覚する質感と触覚を定量的に評価する手法の開発	500,000	150,000	H25-H26
	生命応用	教授	奥山 克彦	—	—	含トリチウム水分子の分子振動の選択的励起によるin-situ分離	1,500,000	450,000	H26-H28
	生命応用	教授	根本 修克	小林 以弦	—	ナノスケールで金属を配置した超分子分子型燃料電池空気極用非貴金属担持炭素複合膜の開発	1,100,000	330,000	H25-H26
	生命応用	准教授	平野 展孝	—	平野 勝紀	納米分解に耐えた濃塩基触媒触媒性樹脂の作出とバイオリアファイナリーへの利用	1,800,000	540,000	H26-H28
	生命応用	専任講師	佐藤 公俊	—	—	水・メタン発酵消化液のイオン浮遊によるリン回収	700,000	210,000	H25-H27
	情報	教授	杉山 安洋	—	—	農業が発生しても実行を継続できるクラウドソフトウェアの研究	600,000	180,000	H25-H27
	総合教育	准教授	川嶋 正士	渡邊 博之	—	LMSを使った英語教育が作成できるeLearningプログラムの開発	1,100,000	330,000	H26-H28
	総合教育	准教授	中野 浩一	—	—	教育学における身体教育の位置づけ：二つの「身体」(生体・身体)に基づく歴史的検討	900,000	270,000	H24-H26
	建築	助教	齋藤 俊克	—	—	ハイブリッド型繊維補強によるポラスコンクリートの耐久性の改善	900,000	270,000	H25-H27
	建築	助教	山岸 吉弘	—	—	大工建築「明王太鼓」の建築生産活動に関する研究	500,000	150,000	H26-H28
若手研究(B)	機械	助教	遠藤 央	—	—	ブルーストームステージに適合する片断撮影装置の開発と動作解析に関する研究	700,000	210,000	H25-H27
	生命応用	助教	内野 智裕	—	—	骨リモデリング応答型生体組織修復デバイスの開発	1,600,000	480,000	H26-H28
	情報	准教授	大山 勝彦	—	—	遠隔共同作業を支援する遠隔型ロボットと遠隔型ロボットによる意思疎通の失敗とその見解の発見	2,000,000	600,000	H26-H27
	総合教育	助教	山田 隆行	—	—	高次元データの多変量解析についての統計的推測に関する研究とその応用	1,300,000	390,000	H26-H28
	生命応用	教授	加藤 隆二	—	—	分子計測による光触媒反応機構決定プロセスの解明	1,400,000	420,000	H25-H26
新学術領域研究	生命応用	教授	加藤 隆二	—	—	分子計測による光触媒反応機構決定プロセスの解明	1,400,000	420,000	H25-H26
学術図書	建築	助教	山岸 吉弘	—	—	木製建築	900,000	—	H26
合計	採択件数合計48件(内新規24件)						小計	75,800,000	22,470,000
							合計	98,270,000	

は、新規採択者

※分担者、連携研究者は学内者(工学部所属者)のみ表記、補助対象事業者は研究代表者・分担者とする

平成26年度 父母懇談会

ご父母との連携を深め、 教育の充実を図るために



部はどのようにサポートしているのかをご理解いただく良い機会にもなっています。

個別面談では、学生一人ひとりの授業の出欠や履修状況を確認しながら、今後の学習の進め方を指導したり、就職や大学院進学などの進路についての相談に教員が懇切丁寧に応えました。ご参加いただいたご父母の皆さまからは、足を運んだ甲斐があったと満足いただけたようでした。



工学部では、ご父母の皆さまとの連絡を密にし、ご子女に関する各種のご相談及び工学部に対するご意見ご要望等をお伺いし、ご子女への教育の充実を図るとともに、ご父母のご意見を学部運営に反映させることを目的に、毎年父母懇談会を実施しています。個別面談を行い、ご子女の成績や進路等について学生本人も交えた相談の場としてもご利用いただいております。

今年は5月31日(土)に開催し、200組のご父母の皆さまにご参加いただきました。70号館を会場とし学科ごとに教室を設けて学部や学科の紹介、生活や就職についての説明を行いました。ご子女が大学でどのように学んでいるのか、工学

父母懇談会、工学部に対するご父母の声



土木工学科
3年生のお母様
(若手県)

これから始める就職活動について相談にきましたが、就職状況などについて詳しく教えていただきました。説明も丁寧でわかりやすく、親としても安心できました。大学では就職に関する講座や対策などいろいろサポートしてくれているので助かります。



建築学科
4年生のお父様・お母様
(福島県)

親として知らないことが多かったので、情報を得るために参加しました。大学院のことなど詳しく話聞いて大変勉強になりました。子どもも同席できればよかったですね。工学部は施設設備が整い、環境にも恵まれて素晴らしい大学だと思っています。



機械工学科
2年生のお母様
(栃木県)

子どもがどのような大学生活を送っているのか知る機会がないので、父母懇談会を理由に様子を見に来ました。直接先生から出席や成績について細かく説明していただいたり、今後どうすればよいかわかりやすかったです。



電気電子工学科
3年生のお父様・お母様
(茨城県)

就活の心構えについて貴重な情報が得られ、大変なになりました。いろいろ資料もいただけて来てよかったです。Webでの情報発信も必要ですが、見えないものもあるので、保護者にも情報がしっかり届くようにしてほしいと思います。



生命応用化学科
3年生のお父様
(福島県)

大学院に進学するか、就職するか迷っていました。個別面談では大学院についてもわかりやすく説明してもらい、よく理解できました。日本大学のネットワークは大きいし、入ってくれてよかったと思っています。単位を落とさないように卒業してほしいですね。



情報工学科
2年生のお母様
(神奈川県)

就職状況の詳しい資料があり、どんなところに就職しているのか、将来どんな道があるのかもよくわかりました。ここは都立の大学と比べてキャンパスが広く、自然にも恵まれています。落ち着いた環境の中で学生たちも伸び伸びしているところがいいと思います。

その他の感想・ご意見

- 先生が思ったよりフランクで話しやすかった。
- 東京の懇談会にも出席したが、今回は直接担任に詳しく話を聞いたのでよかった。
- 話を聞いて視点を変えることができ、子どももやる気になった。
- 学食の値段は少し高くてもメニューのバリエーションを豊富にして、野菜もしっかり摂れるようにしてほしい。
- ワクワク感あふれる授業展開など、向上心のある学生をうまく伸ばしていく仕掛けを考えてほしい。

ご父母の皆さまからいただいた貴重なご意見は、次回の実施の際にも役立ててまいります。

今後ともご指導ご鞭撻をいただけますよう、お願いいたします。

この場をお借りいたしまして、ご参加いただいたご父母の皆さまに感謝申し上げます。